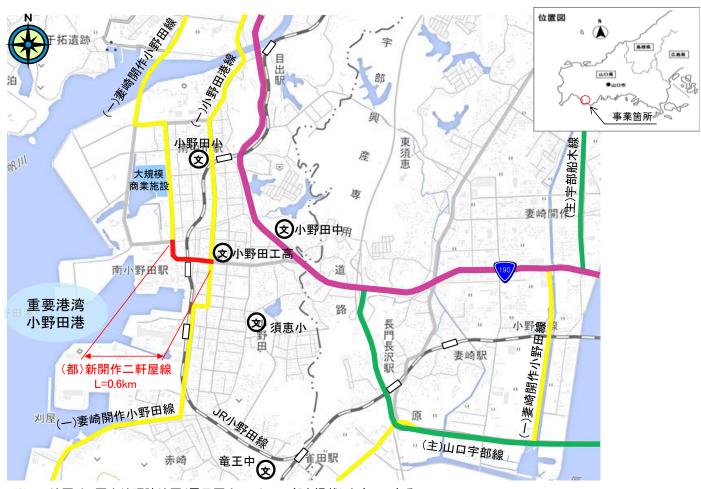
再評価項目調書

再評価実施要件			○ 事業採択後(年) ○ 再評価後(年) ● その他(変化)
	1 事業概要	事 業 名	都市計画道路 新開作二軒屋線 街路整備事業
		事 業 場 所	山陽小野田市中央一丁首~平成町
		事 業 主 体	山口県
		事業期間	《前回評価 平成 25 年 時》 平成 26 年度 ~ 令和 8 年度 《令和 2 年度》 (西暦 2014 年度 ~ 西暦 2026 年度 《西暦 2020 年度》)
		総事業費(内用地補償費)	≪ 900 百万円≫1,450 百万円 既投資額(内用地補償費)(796 百万円)(月地補償費)(91 %)
1		事業目的	本路線は、山陽小野田市の中心市街地を通過する幹線道路であり、国道190号から大規模商業施設や臨海部の工場等へのアクセス道路として、重要な役割を担っている。 しかしながら、当該区間の公園通り交差点は食い違い形状になっており、安全で円滑な交通に支障をきたしている。また、周辺には駅や高等学校が立地し、歩行者が多いにも関わらす歩道が未整備の区間があり、歩行者や自転車利用者は危険な状況となっている。 このため、自転車歩行者道の整備や交差点の改良を行うことにより、安心・安全な歩行空間を確保するとともに交通の円滑化を図る。
		事業内容	○延長 L=0.6km ○幅員 全幅17.0m (車道3.0×2+3.0(右折車線)=9.0m、自転車歩行者道3.5m×2=7.0m) ○道路区分 第4種第2級 ○計画交通量 8,800台/日
		事業効果	○自転車歩行者道の整備を行うことにより、児童、生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の安全性が向上する。 (歩行者219人/12h、自転車164台/12h(平成22年)) ○交差点改良を行うことにより、交通の円滑化が図られ、日常生活の安全性・利便性向上が期待される。
2再評価の視点	(1)社会経済情勢の変化	社会経済情勢 の変化に伴う 必要性の変化	本路線は、山陽小野田市の中心市街地の南部に位置し、周辺には、JR 小野田線南小野田駅、須恵小学校、小野田中学校、小野田工業高校などが立地しており、歩行者や自転車利用者が多いにもかかわらず歩道が未整備の区間があるため、絶えず危険にさらされている。また、山陽小野田市通学路交通安全プログラムや令和3年度通学路合同点検において、当該区間が要対策箇所に掲げられており、事業の必要性は依然として高い。
		関係市町及び 地 元 の 意 向	地元自治体である山陽小野田市からは、毎年、当該区間の早期整備要望が寄せられており、事業推進にあたっての協力体制が整っている。また、歩道が未整備の区間があり、車両と歩行者が輻輳し大変危険であるため、地元住民からも早期整備が期待されている。

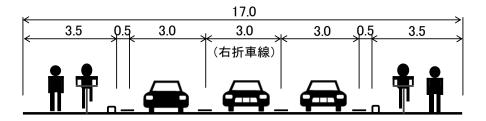
			(WH. T.T.D.)
			(単位:百万円) 前回 今回(再評価・再々評価) (基準年:) (基準年:) 全体事業 発事業 大項目 評価
2再評価の視点	(2)事業の投資効果	費用対効果 分析等	(ア語の関係の関係を対している) (本行は関係の関係を対している) (本行は関係の関係を対している) (本行は関係の関係を対している) (本行は関係の関係を対している) (本行は関係の関係を対している) (本行は関係の関係を対している) (本行は、事業を) (本行の関係を対している) (本行の関係を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、
	(3)事業の進捗		用地補償については概ね完了しており、今後、計画的な事業進捗が見込まれることから、引き続き、当該区間の整備を進める。 大項目 評 価 本 本 。 。
		事業の進捗と 今後の見通し	【事業費の変化】 有 無 事業費の増は、電線共同溝整備の実施や撤去工事費、測量試験費及び建物補償費の増加による。
			【事業期間の変化】 有 無
			L」 用地補償の遅延及び電線共同溝実施に伴う設計・関係者調整に時間を要したことにより、 事業期間を令和8年度まで延伸する。
	(4)コスト縮減代替案等の可能性	コスト縮減	発生土については、現場内利用や他工事へ流用することによりコスト縮減 中項目 大項目 評 価 評 価 a b A
		代 替 案	機能面や沿道利用の観点から、既存道路を拡幅する形で都市計画決定 (W=17m、2車線) されており、代替案の検討の余地はない。
	3 環 境	配慮事項	○低騒音・低振動型の建設機械を使用する。 ○排水性舗装により、交通騒音の低減を図る。
	(事業実施主体案)	総合評価	● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止
4対応方針		評価 理由	事業の必要性、整備効果を勘案し、事業継続が妥当と判断する。
針		備考	

位置図



※この地図は、国土地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。

標準断面図



写真



現道の課題(歩道未整備箇所)



現道の課題(食い違い交差点)